

情報セキュリティ対策ベンチマーク ver3.4

2011年5月31日

情報セキュリティ対策ベンチマークでは、Webページ上の質問に答えることで、組織の情報セキュリティへの取組状況を自己診断することができます。診断においては、スコア*1(点数)による評価と他社との比較ができます。他社との比較では、レーダーチャートによる比較や散布図による自社の位置の確認ができます。これらの比較の基礎となるのは、本システムで実際に診断を行った企業の診断データです。



診断結果では、次の項目が表示されます。

【診断結果の表示】

1. トータルスコアの分布と自社の位置を散布図で表示
 - 散布図は、全体と企業規模別の2種類を表示
 - 散布図中の自社の位置は最新の位置と過去2回分までの比較が可能
2. レーダーチャートによるスコアの比較は4種類を表示
 - 情報セキュリティリスク指標に応じたグループ別のスコアの比較
 - 企業規模別によるスコアの比較
 - 業種別によるスコアの比較能
 - 自組織の最新のスコアと過去2回分までのスコアの比較
3. トータルスコアの度数分布状況と偏差値を表示
4. 診断結果を資料として活用可能(PDF*2で保存・印刷)
5. スコア一覧の表示(PDF)
6. 推奨される取り組みの表示



*1) スコア

情報セキュリティ対策の実施状況に関する評価項目25問へ5段階で回答すると、スコア(点数)が計算されます。各評価項目は5点、トータルスコアは125点です。

*2) PDF

PDF(Portable Document Format)とは、Adobe Systems社によって開発された、電子文書のためのグローバルスタンダードなドキュメントフォーマットです。このフォーマットのファイルを参照するには、専用のアプリケーションやブラウザのアドオン等が必要ですが、Adobe Systems社からも無償ツールのAdobe Readerが提供されており、参照だけでなく保存や印刷を行うこともできます。

1. 情報セキュリティ対策ベンチマーク利用状況

2008年4月にリリースした、情報セキュリティ対策ベンチマークバージョン3.1 より、診断の基礎データについては、情報セキュリティを巡る環境変化やレベルの変化を勘案し、最新2年分のデータを適用することとし、基礎データの入れ替えを毎年行うようになりました。

表1および図1に、情報セキュリティ対策ベンチマークの利用件数(診断数)を示し、図2に利用件数累計の推移を示します。

2010年12月31日現在、利用件数は延べ2万件を超え、診断の基礎データとして提供されたデータの延べ件数(再診断を含む)は、初期データ885件を含み、11,291件となっています。

表1 情報セキュリティ対策ベンチマークの利用件数

期間	診断データ提供あり (延べ診断数)*4	診断データ提供なし (延べ診断数)	利用件数合計 (延べ診断数)
初期データ(2005/3)*3	885	-	885
2005/8-2008/12	7168	7694	14862
2009/1~2009/12	1676	1335	3011
2010/1~2010/12	1562	1253	2815
合計	11291	10282	20688

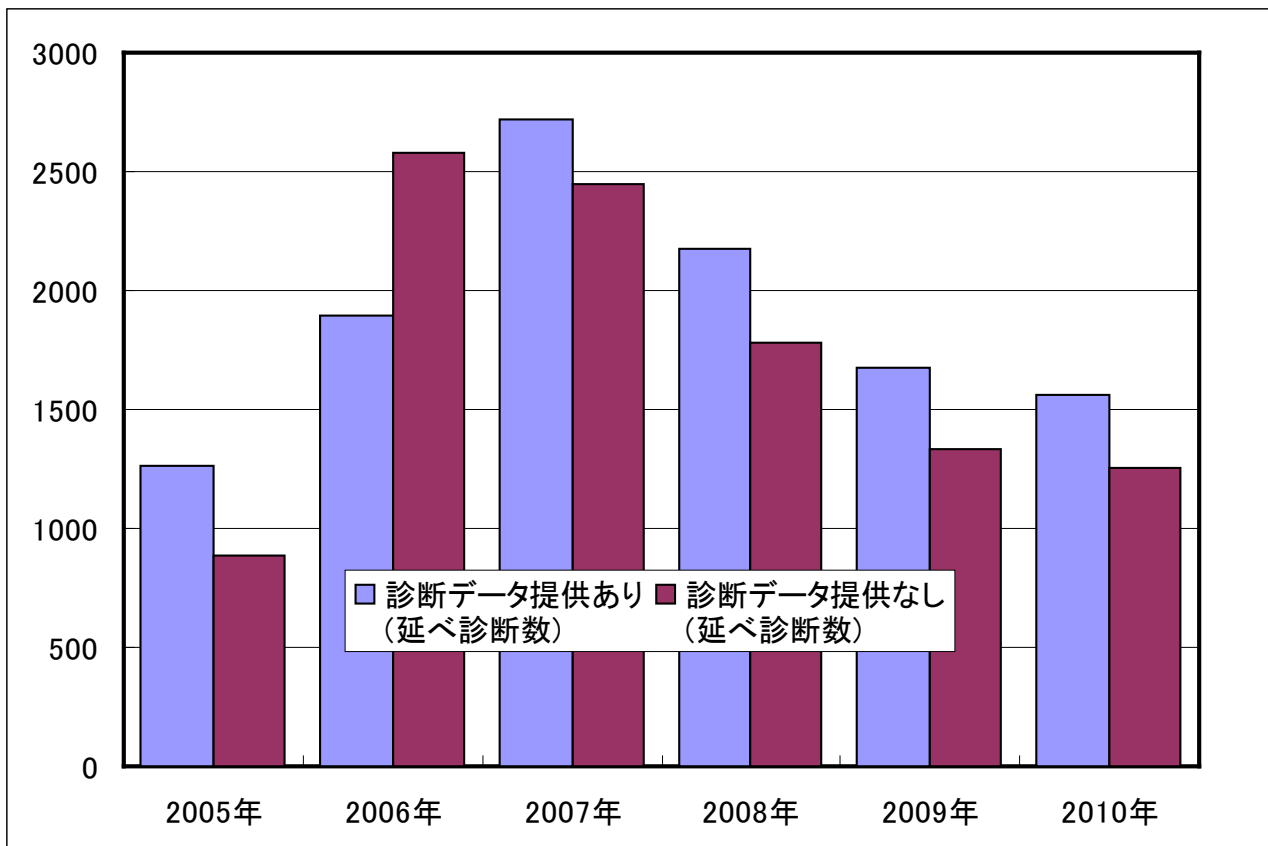


図1 情報セキュリティ対策ベンチマークの利用件数(診断数)の推移

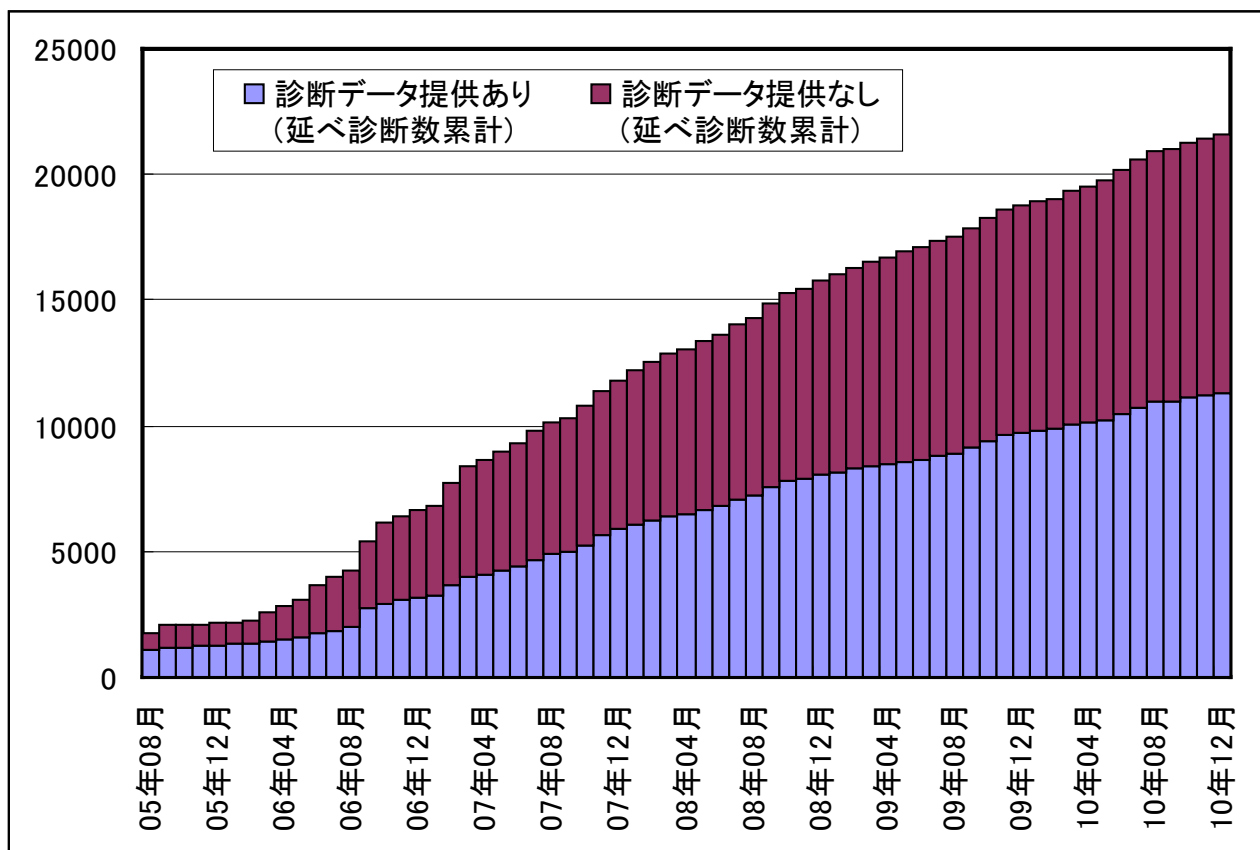


図2 情報セキュリティ対策ベンチマークの利用件数(診断数)累計の推移

2010年6月29日にリリースした情報セキュリティ対策ベンチマークバージョン3.3では、2008/1/1～2009/12/31に提供された診断データの重複等を整理し、1,540件を診断の基礎データとして用いました。

そして、2011年5月31日にリリースする情報セキュリティ対策ベンチマークバージョン3.4では、2009/1/1～2010/12/31に提供された診断データを整理*5し、1,654件を診断の基礎データとして用います。

***3) 初期データ**

初期データ885件は、情報セキュリティ対策ベンチマークを策定当初のアンケートデータです。

***4) 診断提供あり**

「診断データ提供あり」には、新規登録件数だけでなく再診断の件数を含みます。

***5) 診断データの整理**

情報セキュリティ対策ベンチマークも利用開始から5年以上経過し、テスト目的や意味のない利用の件数も減り、統計情報としての利用登録が行われた診断データに関しては同一企業や組織における重複登録分も基礎データとして適当であると判断し、企業や組織での重複データの整理は実施していません。

図3にver.3.3とver.3.4の基礎データにおける25項目のスコア平均値を示しますが、僅かながらスコア平均値が向上しているのがみてとれます。

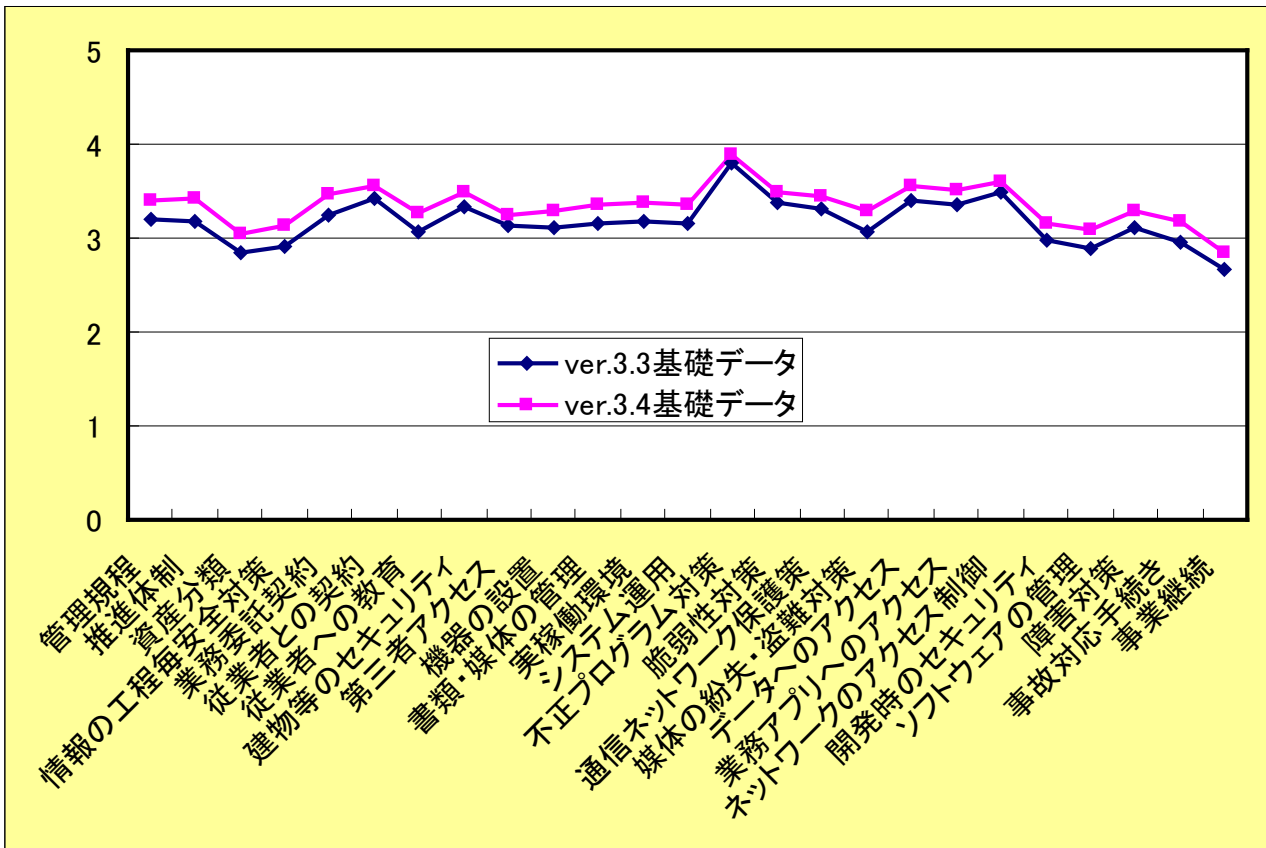


図3 ver.3.3基礎データとver.3.4基礎データの25項目のスコア平均値比較

以下に、バージョン3.4 の診断の基礎データとなる1,654件のデータのグループ別、企業規模別、業種別の各平均値と望まれる水準*6の値(図4)を示します。

2. グループ別平均値と望まれる水準

情報セキュリティ対策ベンチマークでは、診断企業は情報セキュリティリスク指標*7の値の高い順に、グループⅠ(GⅠ:高水準のセキュリティレベルが要求される層)、グループⅡ(GⅡ:相応の水準のセキュリティレベルが望まれる層)、グループⅢ(GⅢ:情報セキュリティ対策が喫緊の課題でない層)の3つのグループのいずれかに分類され、そのグループ内の平均値や望まれる水準(図2参照)と自社の対策状況の比較ができます。

*6) 望まれる水準

それぞれのグループでの上位1/3の平均点が望まれる水準となります。

*7) 情報セキュリティリスク指標

情報セキュリティリスク指標は、従業員数、売上高、重要情報の保有数、IT依存度などから計算される企業のかかえるリスクを表す指標です。情報セキュリティリスク指標の算出方法は、「企

業における情報セキュリティガバナンスのあり方に関する研究会 報告書」参考資料 情報セキュリティ対策ベンチマーク p. A1-30「企業分類に係わる指標の算出方法」を参照して下さい (<http://www.meti.go.jp/report/downloadfiles/g50331d01j.pdf>)。

情報セキュリティリスク指標＝事業構造上の脆弱性指標＋社会的影響力指標

$$\begin{aligned} \text{事業構造上の脆弱性指標} &= -0.0018 \times (\text{正社員割合} - 77.673) / 23.249 \\ &+ 0.0710 \times (\text{総拠点数} - 36.133) / 288.791 \\ &+ 0.5389 \times (\text{IT 依存度} - 2.797) / 1.054 \\ &+ 0.5326 \times (\text{インターネット依存度} - 1.611) / 0.858 \\ &+ 0.3588 \times (\text{ビジネスパートナーへの依存度} - 2.028) / 0.892 \\ &- 0.0302 \times (\text{年間離職率} - 6.037) / 8.305 \end{aligned}$$

正社員割合は%の値

総拠点数は国内拠点数+海外拠点数

IT依存度は%ベースの1(25%以下)～4(75%以上)の点数

ビジネスパートナーへの依存度は%ベースの1(25%以下)～4(75%以上)の点数

年間離職率は%

※(上記の値-平均値)/標準偏差に係数をかけて合算する

$$\begin{aligned} \text{社会的影響力指標} &= 0.1331 \times (\text{売上高} - 61526.4) / 127537.8 \\ &+ 0.2764 \times (\text{公益性} - 2.354) / 0.913 \\ &+ 0.3082 \times (\text{顧客への影響} - 2.203) / 0.865 \\ &+ 0.3044 \times (\text{ブランドへの影響} - 2.598) / 0.803 \\ &+ 0.3214 \times (\text{機密情報の保有度} - 2.256) / 0.899 \\ &+ 0.2212 \times (\text{保有個人情報数} - 249308.1) / 822664.5 \end{aligned}$$

売上高は百万円単位の金額

公益性は、1点(ほとんどない)、2点(少ない)、3点(他の業種に比べると高い)、
4点(事業の性質上極めて高い)の点数

顧客への影響は、1点(ほとんどない)、2点(少ない)、3点(大きな影響がある)、
4点(極めて大きな影響がある)の点数

ブランドへの影は、1点(ほとんどない)、2点(部分的に影響がある)、3点(大きな影響がある)、
4点(企業の存続に関わる影響がある)の点数

機密情報の保有度は、1点(ほとんどない)、2点(少ない)、3点(全体の半分程度)、
4点(ほとんどがその種の情報である)の点数

保有個人情報数は人数分の数

※(上記の値-平均値)/標準偏差に係数をかけて合算する

参考までに、グループⅠ(GⅠ)とグループⅡ(GⅡ)の境界となる情報セキュリティリスク指標の値は0.6で、グループⅡ(GⅡ)とグループⅢ(GⅢ)の境界となる情報セキュリティ指標の値は-0.79です。

グループⅠ:情報セキュリティリスク指標 \geq 0.6

グループⅡ:情報セキュリティリスク指標 $<$ 0.6 and 情報セキュリティリスク指標 $>$ -0.79

グループⅢ:情報セキュリティリスク指標 \leq -0.79

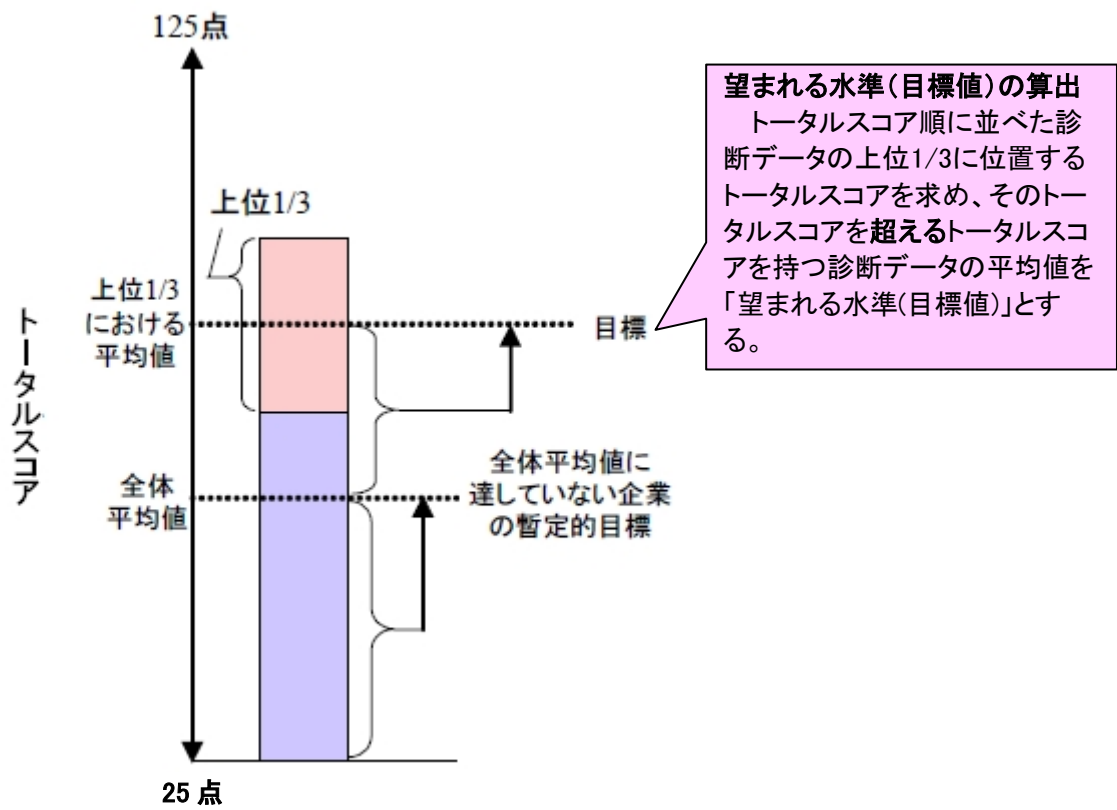


図4 望まれる水準の設定

バージョン3.4 の診断の基礎データ1,654件のグループ別平均値と望まれる水準の値を表2に、視覚的に理解しやすくするために平均値のレーダーチャートを図5に示します。

表2 グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (n=1654)

大項目	設問	連番	平均値			望まれる水準		
			G I	G II	G III	G I	G II	G III
問 1	(1) 管理規定	1	3.468	3.416	3.155	4.278	4.044	4.057
	(2) 推進体制	2	3.514	3.390	3.199	4.282	4.040	4.067
	(3) 資産分類	3	3.139	3.043	2.778	4.085	3.750	3.800
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.226	3.161	2.820	4.097	3.871	3.886
	(5) 業務委託契約	5	3.587	3.425	3.193	4.278	3.996	4.057
	(6) 従業者との契約	6	3.613	3.586	3.304	4.344	4.097	4.152
	(7) 従業者への教育	7	3.338	3.312	3.035	4.259	4.024	4.143
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.605	3.460	3.196	4.297	4.032	4.095
	(2) 第三者アクセス	9	3.309	3.262	3.000	4.139	3.839	3.924
	(3) 機器の設置	10	3.342	3.330	3.082	4.166	3.903	3.943
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.453	3.341	3.136	4.181	4.020	4.067
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.424	3.412	3.152	4.181	3.952	4.019
	(2) システム運用	13	3.433	3.349	3.158	4.216	4.024	3.990
	(3) 不正プログラム対策	14	3.933	3.905	3.756	4.425	4.242	4.267
	(4) 脆弱性対策	15	3.532	3.497	3.320	4.251	4.089	4.124
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.535	3.447	3.190	4.270	4.004	4.095
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.365	3.293	3.066	4.228	4.044	4.019
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.576	3.610	3.434	4.286	4.105	4.095
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.528	3.562	3.354	4.185	4.069	4.067
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.658	3.651	3.392	4.290	4.141	4.143
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.217	3.165	2.959	4.089	3.790	3.876
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.185	3.043	2.930	4.112	3.734	3.867
問 5	(1) 障害対策	23	3.360	3.258	3.142	4.100	3.778	3.924
	(2) 事故対応手続き	24	3.282	3.137	2.924	4.205	3.859	4.010
	(3) 事業継続	25	2.913	2.803	2.665	3.903	3.339	3.533

注1: G I =グループ I、G II =グループ II、G III =グループ III

注2: 各グループの件数 G I =877件、G II =461件、G III =316件

(注意)

望まれる水準に関してG IIとG IIIで目標値が逆転しているものもありますが、ver.3.4の基礎データからの算出結果のため、グループ分けの概念とは矛盾するかもしれませんが、そのまま掲載しています。後述の表3および表4においても同様となります。

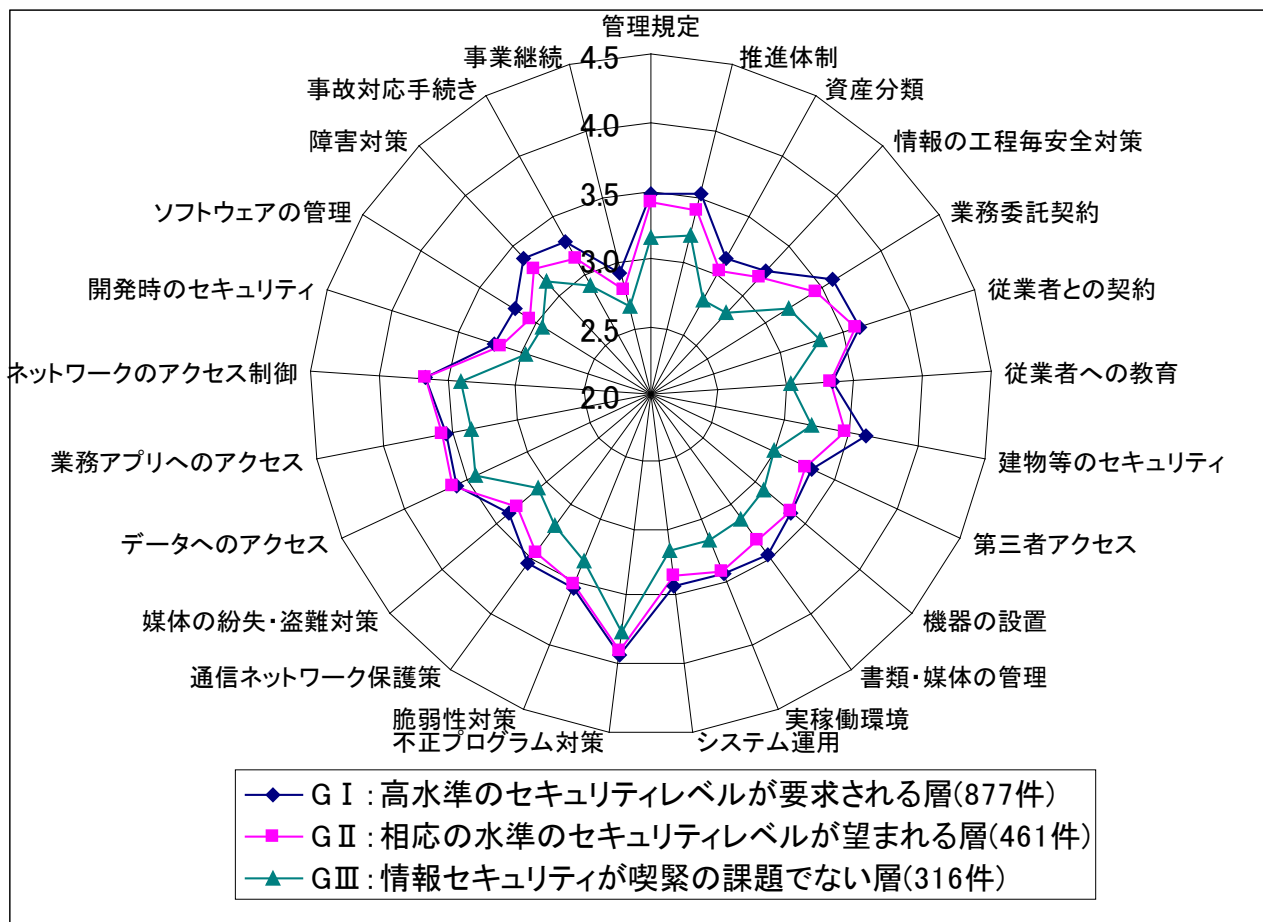


図5 グループ別 25項目のスコア平均値

参考までにver.3.3の診断の基礎データにおける「グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準」を表2-2に示します。

表2-2 グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (ver.3.3 n=1540)

大項目	設問	連番	平均値			望まれる水準		
			G I	G II	G III	G I	G II	G III
問 1	(1) 管理規定	1	3.286	3.177	3.003	4.167	4.145	4.027
	(2) 推進体制	2	3.274	3.152	3.047	4.147	4.076	4.036
	(3) 資産分類	3	2.962	2.825	2.647	3.955	3.814	3.664
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.043	2.898	2.680	3.963	3.945	3.709
	(5) 業務委託契約	5	3.352	3.232	3.030	4.118	4.069	3.955
	(6) 従業者との契約	6	3.555	3.390	3.208	4.245	4.186	4.082
	(7) 従業者への教育	7	3.186	3.054	2.852	4.163	4.090	3.991
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.470	3.305	3.083	4.188	4.090	4.036
	(2) 第三者アクセス	9	3.256	3.074	2.899	4.033	3.945	3.864
	(3) 機器の設置	10	3.197	3.076	2.979	4.057	3.986	3.891
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.283	3.128	2.935	4.122	4.055	4.009
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.217	3.180	3.068	4.061	3.959	3.927
	(2) システム運用	13	3.206	3.177	3.027	4.082	4.069	3.909
	(3) 不正プログラム対策	14	3.829	3.829	3.736	4.286	4.324	4.236
	(4) 脆弱性対策	15	3.421	3.381	3.228	4.159	4.124	4.073
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.405	3.312	3.083	4.188	4.152	4.009
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.194	3.041	2.852	4.171	4.138	4.036
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.424	3.455	3.315	4.147	4.152	4.082
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.405	3.364	3.267	4.082	4.103	4.082
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.528	3.511	3.329	4.200	4.152	4.118
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.050	2.944	2.822	3.939	3.828	3.718
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.969	2.816	2.822	3.922	3.807	3.745
問 5	(1) 障害対策	23	3.136	3.100	3.027	3.935	3.834	3.764
	(2) 事故対応手続き	24	3.089	2.881	2.757	4.053	3.959	3.809
	(3) 事業継続	25	2.752	2.593	2.531	3.694	3.400	3.355

注1: G I =グループ I、G II =グループ II、G III =グループ III

注2: 各グループの件数 G I =741件、G II =462件、G III =337件

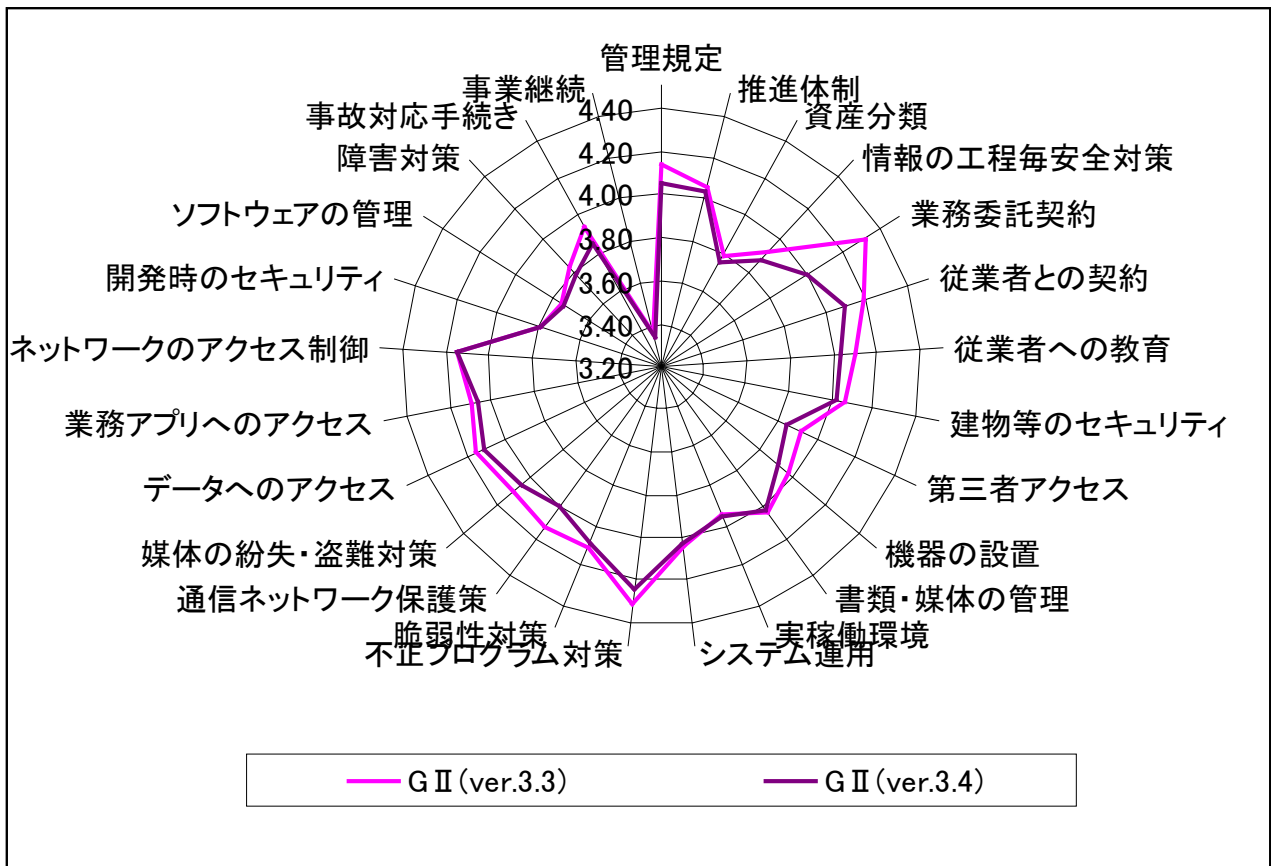


図5-2 グループII 25項目のスコア平均値の比較

グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準について、表2と表2-2の比較では分かりにくいですが、グループII（相応の水準のセキュリティレベルが望まれる水準）の望まれる水準に関してのみ、ver.3.3とver.3.4では逆転（退行）していることが図5-2でみてとれる。グループIIの母数はver.3.3が462件、ver.3.4が461件とほぼ同一の診断件数です。

後述の図6および図7をみる限り、グループIIの望まれる水準を下げていているのは、従業員数が300名を超える大企業の診断データのあるようだ。グループIIということもあり、セキュリティ意識の低下が、そういった企業にあるのかもしれない。図5-2から推測するならば、業務委託先との関係あるいは従業員との関係に関するセキュリティ項目が特に問題と考えられます。

原因はどうあれ、このレベルの企業に対しては積極的なセキュリティ啓発活動が必要と考えられます。

3. 企業規模別平均値と望まれる水準

診断結果には、企業規模別のスコアの比較がレーダーチャートにより表示されます。診断企業は、従業員数300名を超える企業(大企業)と、300名以下の企業(中小企業)に分類され、さらに、企業規模別に情報セキュリティリスク指標に応じたグループ分けがなされます。

バージョン3.4 の診断の基礎データ1,654件の診断データを企業規模別グループ別に分けた各平均値と望まれる水準の値を表3と表4に、視覚的に理解しやすくするために平均値のレーダーチャートを図6と図7に示します。

表3 グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準
従業員数300名以下の企業(中小企業) (n=1011)

大項目	設問	連番	平均値			望まれる水準		
			G I	G II	G III	G I	G II	G III
問 1	(1) 管理規定	1	3.270	3.288	2.943	4.149	4.131	3.971
	(2) 推進体制	2	3.319	3.217	3.057	4.109	4.060	4.044
	(3) 資産分類	3	2.899	2.936	2.735	3.971	3.917	3.824
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.041	3.105	2.810	4.006	4.071	3.941
	(5) 業務委託契約	5	3.458	3.307	3.062	4.177	4.119	4.029
	(6) 従業者との契約	6	3.445	3.547	3.289	4.229	4.214	4.103
	(7) 従業者への教育	7	3.068	3.221	2.943	4.063	4.131	4.074
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.445	3.337	3.043	4.183	4.083	3.971
	(2) 第三者アクセス	9	3.094	3.184	2.943	4.040	4.000	3.926
	(3) 機器の設置	10	3.150	3.202	2.962	4.029	4.024	3.897
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.313	3.292	3.066	4.114	4.167	4.044
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.280	3.315	2.995	4.126	4.048	3.985
	(2) システム運用	13	3.266	3.270	3.019	4.103	4.107	3.971
	(3) 不正プログラム対策	14	3.850	3.861	3.640	4.320	4.345	4.147
	(4) 脆弱性対策	15	3.402	3.419	3.227	4.171	4.155	4.044
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.371	3.360	3.071	4.171	4.190	4.015
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.182	3.169	2.976	4.091	4.202	3.912
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.432	3.524	3.299	4.177	4.190	4.029
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.390	3.483	3.246	4.131	4.143	3.985
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.527	3.509	3.237	4.206	4.214	4.074
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.045	3.086	2.810	3.983	3.976	3.794
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.060	2.955	2.820	3.994	3.917	3.779
問 5	(1) 障害対策	23	3.251	3.195	3.118	3.977	3.857	3.941
	(2) 事故対応手続き	24	3.096	3.011	2.773	4.029	4.048	3.941
	(3) 事業継続	25	2.803	2.757	2.682	3.754	3.560	3.574

注1: G I =グループ I、G II =グループ II、G III =グループ III

注2: 各グループのデータ件数 G I =533件、G II =267件、G III =211件

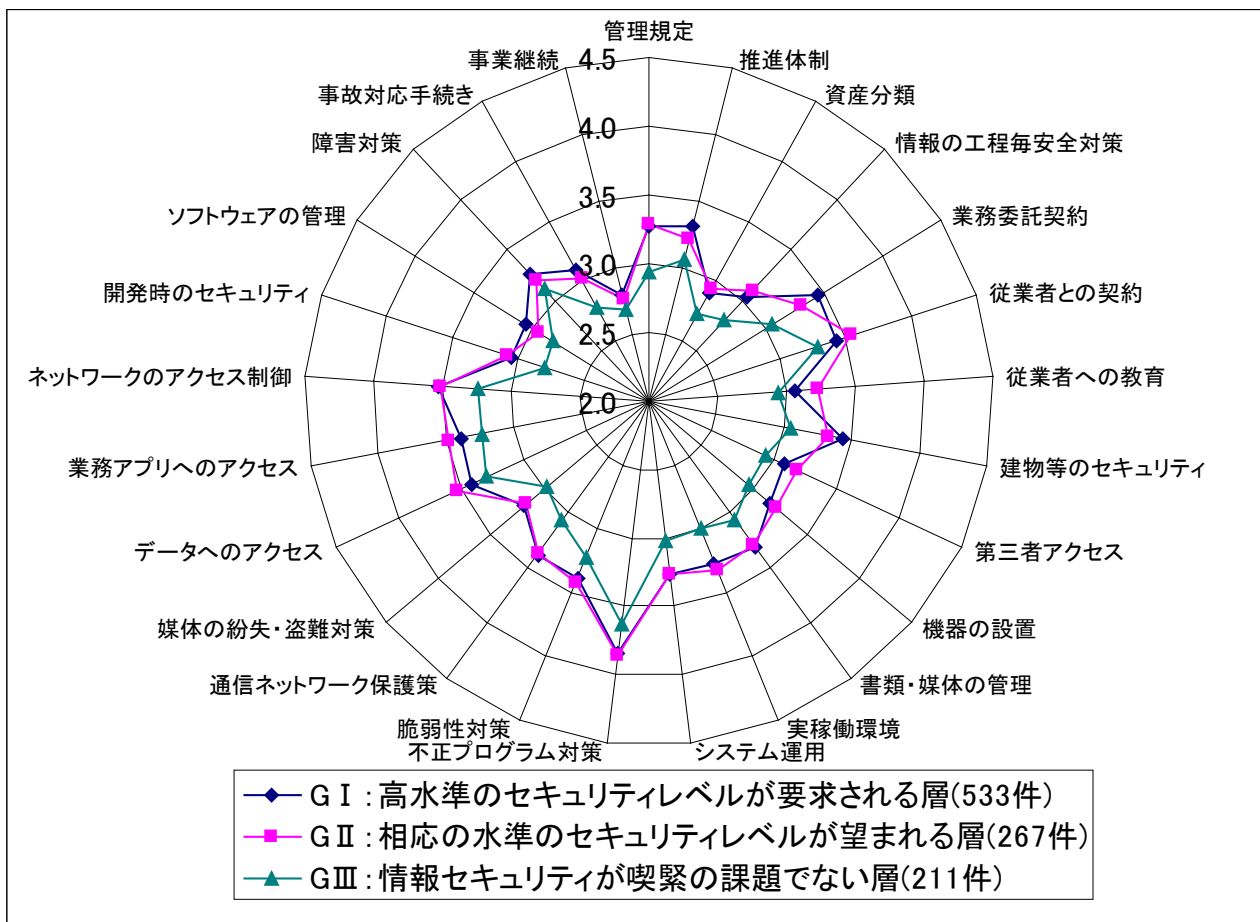


図6 従業員数300名以下の企業(中小企業)の25項目のスコア平均値

表4 グループ別 25項目のスコア平均値と望まれる水準
従業員数300名を超える企業(大企業) (n=643)

大項目	設問	連番	平均値			望まれる水準		
			G I	G II	G III	G I	G II	G III
問 1	(1) 管理規定	1	3.773	3.593	3.581	4.538	4.305	4.219
	(2) 推進体制	2	3.817	3.629	3.486	4.600	4.356	4.125
	(3) 資産分類	3	3.512	3.191	2.867	4.213	4.169	3.781
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.512	3.237	2.838	4.163	4.169	3.938
	(5) 業務委託契約	5	3.788	3.588	3.457	4.500	4.220	4.156
	(6) 従業者との契約	6	3.875	3.639	3.333	4.588	4.305	4.281
	(7) 従業者への教育	7	3.756	3.438	3.219	4.600	4.271	4.313
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.855	3.629	3.505	4.463	4.322	4.313
	(2) 第三者アクセス	9	3.642	3.371	3.114	4.263	4.068	4.063
	(3) 機器の設置	10	3.640	3.505	3.324	4.350	4.203	4.094
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.669	3.407	3.276	4.313	4.322	4.156
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.648	3.546	3.467	4.275	4.119	4.125
	(2) システム運用	13	3.692	3.459	3.438	4.438	4.220	4.000
	(3) 不正プログラム対策	14	4.061	3.964	3.990	4.738	4.542	4.500
	(4) 脆弱性対策	15	3.735	3.603	3.505	4.438	4.390	4.281
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.788	3.567	3.429	4.513	4.356	4.313
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.648	3.464	3.248	4.450	4.339	4.250
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.799	3.727	3.705	4.538	4.288	4.219
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.741	3.670	3.571	4.350	4.288	4.250
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.860	3.845	3.705	4.500	4.390	4.281
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.483	3.273	3.257	4.200	4.119	4.063
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.378	3.165	3.152	4.163	4.085	4.031
問 5	(1) 障害対策	23	3.529	3.345	3.190	4.188	4.119	4.000
	(2) 事故対応手続き	24	3.570	3.309	3.229	4.463	4.186	4.156
	(3) 事業継続	25	3.084	2.866	2.629	3.900	3.814	3.594

注1: G I =グループ I、G II =グループ II、G III =グループ III

注2: 各グループのデータ件数 G I =344件、G II =194件、G III =105件

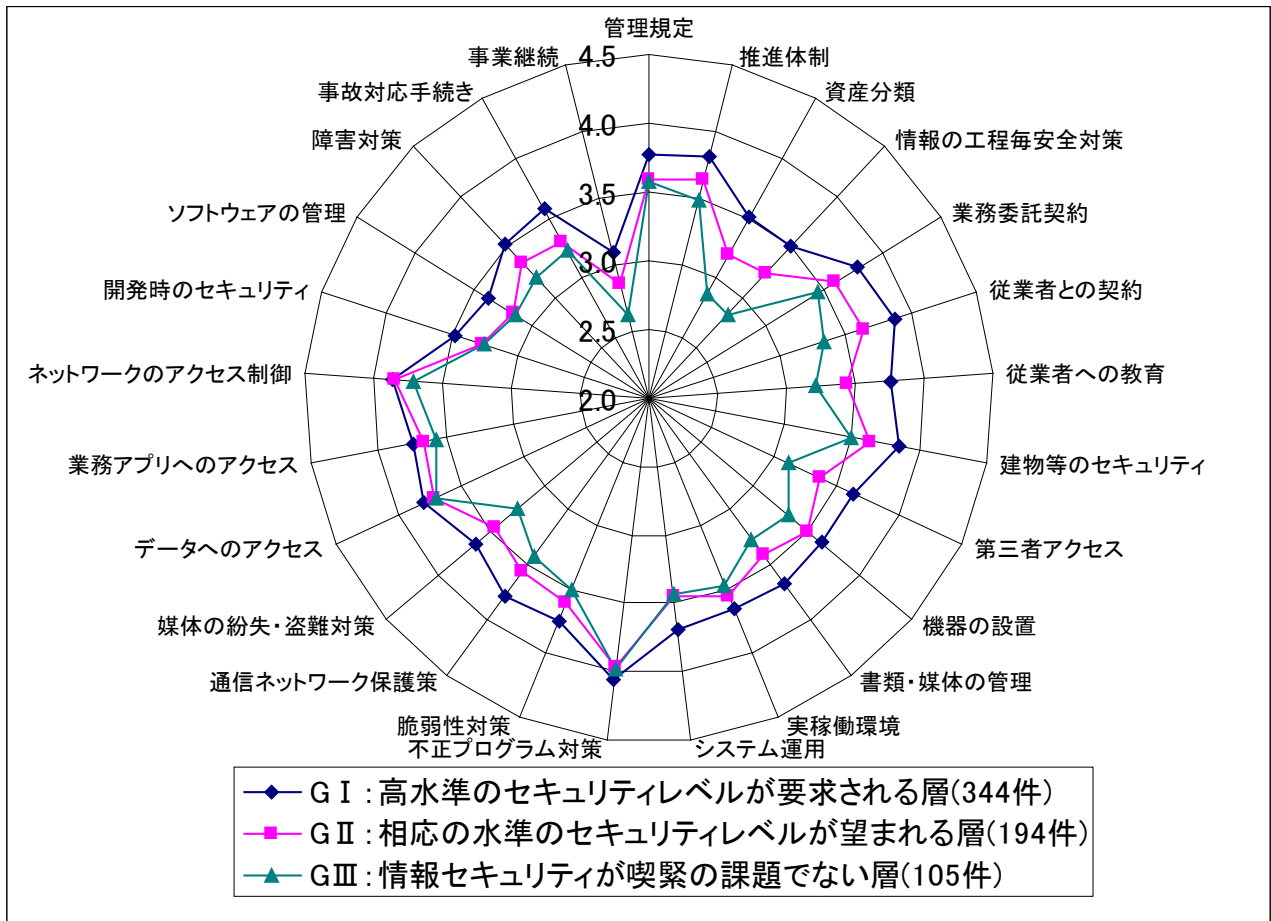


図7 従業員数300名を超える企業(大企業)の25項目のスコア平均値

4. 業種別平均値と望まれる水準

情報セキュリティ対策ベンチマークの業種分類は、総務省の「日本標準産業分類」をベースとしています。業種の選択肢は24種類ですが、業種によっては、診断データ件数が少ないものがあるため、診断結果の業種別スコア比較では、次の11業種グループで比較をしています(括弧の中の数字はそれぞれの業種での診断件数を示しています)。表4以降にこれら11業種グループの各平均値と望まれる水準を示します。

- (1) その他(農林漁業鉱業含む)(362件)
- (2) 建設業(53件)
- (3) 製造業(356件)
- (4) 電力・ガス・熱供給業・水道業・運輸業(26件)
- (5) 情報サービス業(589件)
- (6) 通信業、放送業、ISP・ASP、出版業・新聞業(44件)
- (7) 卸売・小売業(120件)
- (8) 金融・保険業(24件)
- (9) 不動産業、飲食・宿泊業(14件)
- (10) 医療・福祉、教育・学習支援業(48件)
- (11) 政府機関・地方自治体・公益法人(18件)

※ 以下の表に参考情報として掲載しているトータルスコアの標準偏差は、基礎数データのトータルスコアのバラツキを示す値です

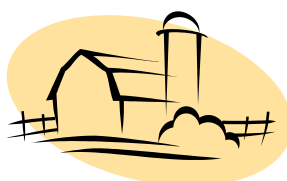


表5 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (1)
 その他(農林漁業鉱業含む) (n=362)

大項目	設問	連番	その他(農林漁業鉱業含む)	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.240 (3.136)	4.042
	(2) 推進体制	2	3.390 (3.097)	4.000
	(3) 資産分類	3	2.851 (2.945)	3.783
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.006 (3.008)	3.875
	(5) 業務委託契約	5	3.442 (3.246)	4.083
	(6) 従業者との契約	6	3.329 (3.470)	4.058
	(7) 従業者への教育	7	3.077 (3.106)	3.933
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.312 (3.322)	4.167
	(2) 第三者アクセス	9	2.936 (3.178)	3.950
	(3) 機器の設置	10	3.163 (3.119)	4.050
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.204 (3.153)	3.942
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.235 (3.127)	4.050
	(2) システム運用	13	3.285 (3.199)	4.108
	(3) 不正プログラム対策	14	3.807 (3.682)	4.300
	(4) 脆弱性対策	15	3.365 (3.271)	4.050
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.334 (3.318)	4.150
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.124 (3.093)	4.008
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.395 (3.360)	4.117
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.367 (3.369)	4.092
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.456 (3.369)	4.167
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.972 (2.864)	3.875
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.003 (2.911)	3.925
問 5	(1) 障害対策	23	3.304 (3.174)	3.858
	(2) 事故対応手続き	24	3.113 (3.064)	4.033
	(3) 事業継続	25	2.751 (2.669)	3.508
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		81 (80)	101
	トータルスコアの標準偏差		18.665 (20.779)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

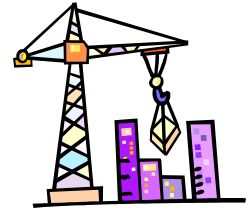


表6 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (2)
建設業 (n=53)

大項目	設問	連番	建設業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.283 (2.902)	4.235
	(2) 推進体制	2	3.302 (3.033)	4.176
	(3) 資産分類	3	2.962 (2.623)	4.176
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.962 (2.508)	4.176
	(5) 業務委託契約	5	3.189 (3.016)	4.176
	(6) 従業者との契約	6	3.434 (3.033)	4.294
	(7) 従業者への教育	7	3.208 (2.656)	4.294
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.340 (3.098)	4.294
	(2) 第三者アクセス	9	2.981 (2.754)	3.882
	(3) 機器の設置	10	3.170 (2.984)	4.118
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.151 (2.836)	4.294
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.396 (2.984)	4.294
	(2) システム運用	13	3.396 (3.082)	4.294
	(3) 不正プログラム対策	14	4.038 (3.885)	4.529
	(4) 脆弱性対策	15	3.509 (3.393)	4.294
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.453 (3.033)	4.353
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.132 (2.672)	4.353
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.585 (3.246)	4.294
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.642 (3.262)	4.235
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.679 (3.344)	4.235
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.981 (2.885)	4.059
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.132 (2.885)	3.941
問 5	(1) 障害対策	23	3.264 (2.934)	4.000
	(2) 事故対応手続き	24	3.019 (2.770)	4.000
	(3) 事業継続	25	2.679 (2.426)	3.412
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		82 (75)	105
	トータルスコアの標準偏差		20.736 (20.324)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです



表7 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (3)
製造業 (n=356)

大項目	設問	連番	製造業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.199 (3.030)	4.778
	(2) 推進体制	2	3.253 (3.119)	4.444
	(3) 資産分類	3	2.767 (2.664)	4.667
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.753 (2.681)	4.222
	(5) 業務委託契約	5	3.191 (3.065)	4.778
	(6) 従業者との契約	6	3.315 (3.245)	5.000
	(7) 従業者への教育	7	3.006 (2.862)	4.667
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.258 (3.179)	4.889
	(2) 第三者アクセス	9	3.008 (2.963)	4.667
	(3) 機器の設置	10	3.152 (3.014)	4.778
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.070 (3.014)	4.778
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.264 (3.107)	4.556
	(2) システム運用	13	3.188 (3.070)	4.333
	(3) 不正プログラム対策	14	3.806 (3.786)	5.000
	(4) 脆弱性対策	15	3.298 (3.333)	4.889
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.256 (3.168)	4.889
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.121 (2.963)	5.000
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.421 (3.345)	4.889
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.329 (3.228)	4.778
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.466 (3.389)	5.000
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.994 (2.886)	4.667
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.831 (2.730)	4.222
問 5	(1) 障害対策	23	3.096 (3.086)	4.556
	(2) 事故対応手続き	24	2.919 (2.828)	4.667
	(3) 事業継続	25	2.511 (2.471)	4.111
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		79 (77)	118
	トータルスコアの標準偏差		20.972 (20.699)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

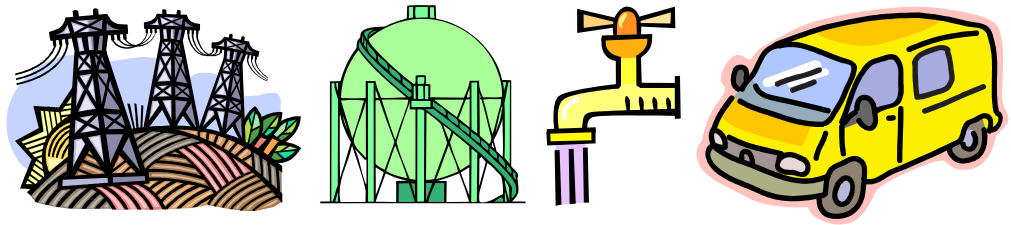


表8 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (4)
電力・ガス・熱供給業・水道業・運輸業 (n=26)

大項目	設問	連番	電力・ガス・熱供給業・ 水道業・運輸業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	2.962 (3.000)	3.875
	(2) 推進体制	2	3.077 (3.233)	3.875
	(3) 資産分類	3	2.423 (2.667)	3.000
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.500 (2.700)	2.875
	(5) 業務委託契約	5	3.115 (3.167)	3.750
	(6) 従業者との契約	6	2.808 (3.033)	3.875
	(7) 従業者への教育	7	2.808 (2.967)	3.625
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.192 (3.200)	3.750
	(2) 第三者アクセス	9	2.885 (3.100)	3.375
	(3) 機器の設置	10	3.038 (3.267)	4.000
	(4) 書類・媒体の管理	11	2.615 (2.767)	3.250
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.192 (3.200)	3.875
	(2) システム運用	13	3.231 (3.167)	4.000
	(3) 不正プログラム対策	14	3.692 (3.900)	4.250
	(4) 脆弱性対策	15	3.346 (3.300)	4.125
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.154 (3.233)	4.000
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	2.615 (2.500)	3.625
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.269 (3.267)	3.750
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.346 (3.400)	3.875
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.308 (3.333)	4.000
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.846 (2.900)	3.750
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.846 (3.133)	4.000
問 5	(1) 障害対策	23	3.385 (3.267)	4.000
	(2) 事故対応手続き	24	2.769 (2.700)	3.375
	(3) 事業継続	25	2.577 (2.467)	3.375
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		75 (77)	94
	トータルスコアの標準偏差		17.857 (17.982)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです



表9 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (5)
情報サービス業 (n=589)

大項目	設問	連番	情報サービス業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.756 (3.541)	4.554
	(2) 推進体制	2	3.691 (3.459)	4.512
	(3) 資産分類	3	3.475 (3.193)	4.281
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.582 (3.286)	4.306
	(5) 業務委託契約	5	3.774 (3.541)	4.488
	(6) 従業者との契約	6	3.890 (3.732)	4.587
	(7) 従業者への教育	7	3.723 (3.481)	4.562
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.827 (3.664)	4.512
	(2) 第三者アクセス	9	3.688 (3.471)	4.372
	(3) 機器の設置	10	3.547 (3.338)	4.331
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.774 (3.525)	4.430
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.596 (3.365)	4.289
	(2) システム運用	13	3.584 (3.340)	4.364
	(3) 不正プログラム対策	14	4.029 (3.921)	4.678
	(4) 脆弱性対策	15	3.732 (3.546)	4.446
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.684 (3.515)	4.421
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.659 (3.402)	4.488
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.781 (3.562)	4.455
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.718 (3.519)	4.339
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.801 (3.637)	4.463
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.452 (3.168)	4.182
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.368 (3.056)	4.190
問 5	(1) 障害対策	23	3.436 (3.129)	4.157
	(2) 事故対応手続き	24	3.516 (3.218)	4.388
	(3) 事業継続	25	3.126 (2.880)	3.926
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		92 (86)	110
	トータルスコアの標準偏差		17.299 (18.522)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

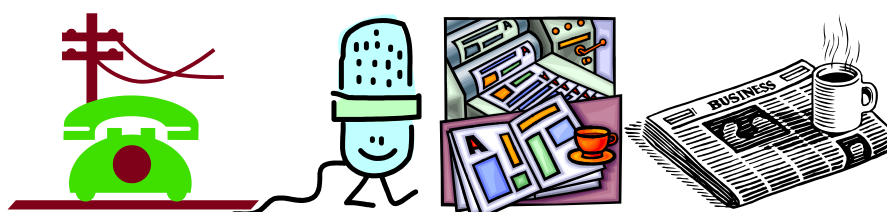


表10 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (6)
 通信業、放送業、ISP・ASP、出版業・新聞業 (n=44)

大項目	設問	連番	通信業、放送業、ISP・ASP、 出版業・新聞業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.341 (3.373)	4.286
	(2) 推進体制	2	3.250 (3.275)	4.357
	(3) 資産分類	3	3.159 (2.941)	4.214
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.114 (3.059)	4.357
	(5) 業務委託契約	5	3.386 (3.196)	4.357
	(6) 従業者との契約	6	3.795 (3.608)	4.429
	(7) 従業者への教育	7	3.182 (3.118)	4.571
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.659 (3.608)	4.143
	(2) 第三者アクセス	9	3.591 (3.314)	4.143
	(3) 機器の設置	10	3.250 (3.039)	4.214
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.477 (3.118)	4.429
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.341 (3.118)	4.286
	(2) システム運用	13	3.568 (3.157)	4.429
	(3) 不正プログラム対策	14	3.955 (3.745)	4.500
	(4) 脆弱性対策	15	3.568 (3.333)	4.357
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.500 (3.549)	4.500
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.159 (3.118)	4.071
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.864 (3.549)	4.571
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.614 (3.412)	4.429
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.750 (3.588)	4.429
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.227 (3.020)	4.214
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.182 (3.000)	4.143
問 5	(1) 障害対策	23	3.159 (2.980)	4.143
	(2) 事故対応手続き	24	3.068 (2.843)	4.286
	(3) 事業継続	25	2.841 (2.765)	4.071
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		85 (81)	108
	トータルスコアの標準偏差		21.696 (22.917)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

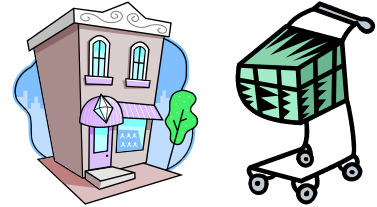


表11 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (7)
卸売・小売業 (n=120)

大項目	設問	連番	卸売・小売業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.292 (3.047)	4.132
	(2) 推進体制	2	3.342 (3.055)	4.158
	(3) 資産分類	3	2.892 (2.638)	3.868
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.067 (2.795)	3.974
	(5) 業務委託契約	5	3.483 (3.205)	4.316
	(6) 従業者との契約	6	3.608 (3.378)	4.474
	(7) 従業者への教育	7	3.117 (2.937)	4.132
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.375 (3.071)	4.132
	(2) 第三者アクセス	9	3.075 (2.780)	3.895
	(3) 機器の設置	10	3.258 (2.953)	4.184
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.217 (2.984)	4.132
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.392 (3.220)	4.184
	(2) システム運用	13	3.283 (3.102)	4.158
	(3) 不正プログラム対策	14	3.967 (3.937)	4.553
	(4) 脆弱性対策	15	3.575 (3.346)	4.395
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.508 (3.244)	4.447
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.183 (2.961)	4.316
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.658 (3.425)	4.421
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.633 (3.417)	4.447
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.675 (3.567)	4.526
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.242 (3.039)	4.211
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.200 (2.961)	4.158
問 5	(1) 障害対策	23	3.425 (3.157)	4.211
	(2) 事故対応手続き	24	3.108 (2.819)	4.184
	(3) 事業継続	25	2.858 (2.583)	3.921
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		84 (78)	106
	トータルスコアの標準偏差		22.038 (21.072)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

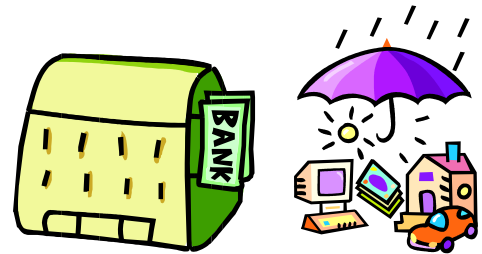


表12 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (8)
金融・保険業 (n=24)

大項目	設問	連番	金融・保険業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	3.625 (3.560)	4.333
	(2) 推進体制	2	3.583 (3.560)	4.167
	(3) 資産分類	3	3.208 (2.920)	4.333
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	3.292 (3.120)	4.167
	(5) 業務委託契約	5	3.500 (3.360)	4.333
	(6) 従業者との契約	6	3.875 (3.760)	4.333
	(7) 従業者への教育	7	3.458 (3.120)	4.167
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.792 (3.560)	4.167
	(2) 第三者アクセス	9	3.458 (3.200)	4.333
	(3) 機器の設置	10	3.458 (3.320)	4.333
	(4) 書類・媒体の管理	11	3.708 (3.400)	4.333
問 3	(1) 実稼働環境	12	3.583 (3.640)	4.500
	(2) システム運用	13	3.625 (3.280)	4.667
	(3) 不正プログラム対策	14	4.083 (3.880)	4.667
	(4) 脆弱性対策	15	3.417 (3.400)	4.333
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	3.667 (3.520)	4.667
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	3.750 (3.320)	4.667
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.667 (3.680)	4.167
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.583 (3.480)	4.333
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.875 (3.760)	4.333
	(4) 開発時のセキュリティ	21	3.125 (3.240)	4.000
	(5) ソフトウェアの管理	22	3.292 (3.400)	4.167
問 5	(1) 障害対策	23	3.375 (3.200)	4.500
	(2) 事故対応手続き	24	3.333 (3.200)	4.333
	(3) 事業継続	25	3.375 (3.160)	4.667
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		89 (86)	109
	トータルスコアの標準偏差		17.031 (19.766)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです



表13 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (9)
 不動産業、飲食・宿泊業 (n=14)

大項目	設問	連番	不動産業、飲食・宿泊業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	2.929 (2.842)	4.000
	(2) 推進体制	2	2.929 (2.789)	4.500
	(3) 資産分類	3	2.500 (2.421)	4.000
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.429 (2.316)	4.000
	(5) 業務委託契約	5	3.000 (2.895)	3.500
	(6) 従業者との契約	6	3.357 (3.368)	4.500
	(7) 従業者への教育	7	2.571 (2.632)	4.000
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	2.929 (3.000)	3.500
	(2) 第三者アクセス	9	2.643 (2.947)	3.500
	(3) 機器の設置	10	2.643 (2.842)	4.000
	(4) 書類・媒体の管理	11	2.500 (2.368)	4.000
問 3	(1) 実稼働環境	12	2.500 (2.526)	3.500
	(2) システム運用	13	2.571 (2.526)	4.000
	(3) 不正プログラム対策	14	3.429 (3.526)	4.000
	(4) 脆弱性対策	15	3.000 (3.000)	4.000
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	2.857 (3.211)	4.500
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	2.714 (2.632)	4.500
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.071 (3.105)	4.500
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.143 (3.105)	4.500
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.000 (3.211)	4.500
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.429 (2.263)	4.000
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.357 (2.316)	4.000
問 5	(1) 障害対策	23	2.571 (2.737)	3.500
	(2) 事故対応手続き	24	2.143 (2.211)	3.000
	(3) 事業継続	25	2.071 (2.368)	1.500
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		69 (70)	98
	トータルスコアの標準偏差		24.978 (17.812)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです



表14 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (10)
医療・福祉、教育・学習支援業 (n=48)

大項目	設問	連番	医療・福祉、 教育・学習支援業	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	2.646 (2.582)	3.867
	(2) 推進体制	2	2.708 (2.527)	3.867
	(3) 資産分類	3	2.375 (2.255)	3.667
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.417 (2.527)	3.733
	(5) 業務委託契約	5	2.813 (2.782)	3.533
	(6) 従業者との契約	6	3.042 (3.000)	3.867
	(7) 従業者への教育	7	2.521 (2.455)	3.733
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	2.833 (2.782)	3.933
	(2) 第三者アクセス	9	2.479 (2.618)	3.667
	(3) 機器の設置	10	2.792 (2.636)	3.733
	(4) 書類・媒体の管理	11	2.833 (2.655)	3.867
問 3	(1) 実稼働環境	12	2.708 (2.655)	3.733
	(2) システム運用	13	2.646 (2.691)	3.933
	(3) 不正プログラム対策	14	3.313 (3.364)	3.933
	(4) 脆弱性対策	15	2.688 (2.873)	3.667
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	2.917 (2.964)	3.867
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	2.375 (2.436)	3.733
問 4	(1) データへのアクセス	18	2.875 (3.036)	3.933
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	2.875 (3.000)	3.933
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.229 (3.309)	3.867
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.396 (2.509)	3.667
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.417 (2.400)	3.600
問 5	(1) 障害対策	23	2.896 (2.891)	3.933
	(2) 事故対応手続き	24	2.458 (2.382)	3.733
	(3) 事業継続	25	2.729 (2.636)	3.867
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		68 (68)	95
	トータルスコアの標準偏差		21.775 (20.796)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです



表15 業種別 25項目のスコア平均値と望まれる水準 (11)
政府機関・地方自治体・公益法人 (n=18)

大項目	設問	連番	政府機関・地方自治体・ 公益法人	
			平均値	望まれる水準
問 1	(1) 管理規定	1	2.278 (2.280)	3.600
	(2) 推進体制	2	2.278 (2.200)	4.000
	(3) 資産分類	3	2.111 (1.880)	3.200
	(4) 情報の工程毎安全対策	4	2.389 (1.880)	3.600
	(5) 業務委託契約	5	2.833 (2.760)	3.800
	(6) 従業者との契約	6	2.722 (2.360)	4.000
	(7) 従業者への教育	7	2.167 (1.920)	3.600
問 2	(1) 建物等のセキュリティ	8	3.333 (2.600)	3.800
	(2) 第三者アクセス	9	2.722 (2.120)	3.800
	(3) 機器の設置	10	2.722 (2.560)	3.000
	(4) 書類・媒体の管理	11	2.722 (2.440)	3.200
問 3	(1) 実稼働環境	12	2.944 (2.520)	3.600
	(2) システム運用	13	2.944 (2.640)	3.400
	(3) 不正プログラム対策	14	3.611 (3.520)	4.000
	(4) 脆弱性対策	15	3.167 (2.920)	3.800
	(5) 通信ネットワーク保護策	16	2.944 (2.760)	3.600
	(6) 媒体の紛失・盗難対策	17	2.444 (2.080)	3.600
問 4	(1) データへのアクセス	18	3.222 (3.000)	3.600
	(2) 業務アプリへのアクセス	19	3.278 (3.280)	3.600
	(3) ネットワークのアクセス制御	20	3.444 (3.160)	4.200
	(4) 開発時のセキュリティ	21	2.944 (2.600)	3.800
	(5) ソフトウェアの管理	22	2.833 (2.440)	3.800
問 5	(1) 障害対策	23	2.944 (2.960)	4.000
	(2) 事故対応手続き	24	2.389 (2.240)	3.400
	(3) 事業継続	25	2.222 (2.080)	3.200
参考	トータルスコア(整数に切り上げ)		70 (64)	92
	トータルスコアの標準偏差		18.449 (17.115)	

※ 参考値として、平均値の()内の値はver.3.3の基礎データのものです

5. ベンチマークシステムの今後について

情報セキュリティ対策ベンチマークも実運用に入ってから、5年を越え、数年前から設問等に関する見直しが行われています。ベンチマークシステムはあくまで利用者の診断データを蓄積し、そのデータからさらなる診断を実施するものであるため、既存の設問を根底から変更することは意味がありません。しかしながら、企業・組織を取り巻く環境あるいは脅威の変化もあるので、1年後に予定される次期バージョン(ver.4.x)から、設問を2問追加することになりました。

具体的には、以下の設問を追加する予定です。

問1 情報セキュリティに対する組織的な取り組み状況

②として追加(リスクアセスメント)

情報セキュリティに関する規程や対策を策定する際に、組織の重要な資産に関する危険性や脆弱性について評価していますか。

(このような手順をリスクアセスメントといいます。リスクアセスメントの手順を確立し、定期的に実施することが、費用対効果の高い情報セキュリティ対策を実施する上で重要な要素となります。)

問3 情報システム及び通信ネットワークの運用管理状況

③として追加(バックアップ)

重要なデータや関連するシステムのバックアップに関する手順を文書化し、実施していますか。

(データの損失やシステム障害事故などからの迅速な復旧のために、バックアップの計画を策定し、システム化しておくことは非常に重要です。もしも重要なデータやそれに関連するシステムのバックアップが正しく行われていない場合、システム障害の際にこれらを復旧することができず、ビジネスに深刻な影響を与える恐れがあります。)

この設問の追加のための基礎データを収集する目的で、ver.3.4ではアンケート方式で診断利用者に情報の入力をお願いします。この2つの追加設問については、ver.3.4では診断の対象とはしませんが、次期バージョンから診断対象とするために、アンケートのご協力をお願いします。ちなみに、2つのアンケートの回答は必須とさせていただきますのでご了承ください。

本件に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

IPA セキュリティセンター 普及グループ 内山／石井

Tel: 03-5978-7508 Fax: 03-5978-7518

E-mail: isec-info@ipa.go.jp

関連資料

1) 情報セキュリティ対策ベンチマーク

<http://www.ipa.go.jp/security/benchmark/>

2) 情報セキュリティガバナンスのページ(経済産業省)

http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/sec_gov-TopPage.html

3) 総務省統計局平成18年事業所／企業統計調査

<http://www.stat.go.jp/data/jigyoku/2006/>

4) 日本標準産業分類(平成19年11月改訂)

<http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19index.htm>